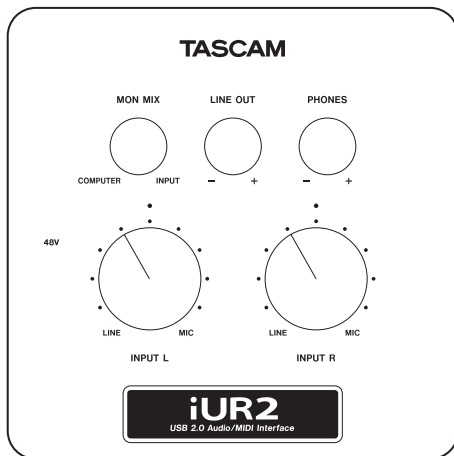
D01188201A

TASCAM

iUR2

USB2.0 Audio/MIDI Interface

Made for iPod iPhone iPad

取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

指示

万一、異常が起きたら
煙が出たり、変なにおいや音がするときは
機器の内部に異物や水などが入ったときは
この機器を落としたり、カバーを破損したときは
パソコンの電源とiOSデバイスの電源を切り、USBケーブルとDockコネクターケーブルを抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。

禁止

この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない
火災・感電の原因となります。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**

注意	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
指示	**電源を入れる前には、音量を最小にする** 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
注意	5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

この装置は、クラス B 技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しく取り扱いをして下さい。
VCCI-B

目次

第 1 章　はじめに

このたびは、TASCAM USB2.0 Audio/MIDI Interface iUR2をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）からダウンロードすることができます。

本機の概要

本機は、USB経由でパソコンをベースにしたオーディオ／MIDIインターフェースとして使用することに加え、iOSデバイス（iPhone 4S/iPhone 4/iPad 2/iPad/iPod touch（第4世代））を接続したコンパクトなデジタルレコーディングシステムを簡単に構築できる製品です。
また、カセットテープなどのアナログ音源を、パソコンに取り込んでオーディオCDを作成したり、iOSデバイスへ直接オーディオファイルとして保存することも可能です。

本機の機能

- 2入力4出力USBオーディオインターフェース
- 44.1/48kHz、16ビット対応
- Dockコネクターからのデジタル接続による高音質転送
- ファントム電源対応バランスマイク／ライン入力端子（TRS標準ジャック）
- USBバス電源によるファントムパワー供給
- 高品位マイクプリアンプ搭載
- ギター入力端子（TS標準ジャック）
- ヘッドホン出力端子(TRS標準ジャック)
- ヘッドホン出力／ライン出力は独立出力、独立ボリュームコントロール
- 入力モニターの遅延が発生しない、ダイレクトモニター機能
- S/PDIFデジタル出力端子
- iOSデバイス、パソコンとのMIDI入出力を装備
- パソコンに加え、iOSデバイスから電源供給が可能
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS X、iOSデバイスの標準のオーディオドライバーで動作
- WindowsにはWDM、MacintoshにはCore Audio/Core MIDIで接続
- TASCAM提供のiOSアプリケーション、もしくは既存iOSアプリケーションにも録音可能
- iOSでのファームウェアアップデート
- Mini USB経由でiOSデバイスへの充電が可能

iOSデバイスとパソコンに関して

本書の説明に出てくるiOSデバイス、およびパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- USBケーブル　x1
- MIDI-3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック変換ケーブル　x2
- XLR（メス）-6.3mm（1/4”）TRS標準ジャック変換ケーブル　x2
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機に接続する対象機種（iPhone 4S/iPhone 4/iPad 2/iPad/iPod touch（第4世代））については、「iOSデバイス」と表記します。
- 本機および外部機器のつまみ／端子などを「**GUITAR IN 端子**」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレーに表示される文字を《OK》のように《__》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機を「このように使うことができる」というような"ヒント"を記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

第 1 章　はじめに

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Mac OS X、iTunes、iPad、iPodおよびiPod touchは、Apple Inc. の商標です。
- “Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度〜35度です。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品の天面には、保護シートが貼付されています。ご使用前にこのシートを剥がしてください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると、結露を生じることがあります。結露したときは、約1〜2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

ユーザー登録については、巻末をご参照ください。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。

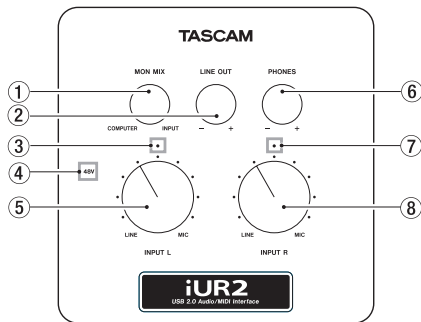
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。

  本機を使ったシステム内のハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

  - 型名、型番（iUR2）
  - 製造番号（Serial No.、Dockケーブル収納部の蓋を取って見えるラベル上の7桁の数字）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名

- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

第２章　各部の名称と働き

トップパネル

① **MON MIX つまみ**
LINE OUT L／LINE OUT R端子および 🎧 端子からは本機の入力信号（INPUT L端子か 🎸 端子のいずれかとINPUT R端子からの入力）と、Dock経由で入力されたiOSデバイスまたはUSB経由で入力されたパソコンの出力信号をミックスして出力します。このつまみを使って、これらの信号のバランスを調節します。左いっぱい（COMPUTER）にするとDock経由で入力されたiOSデバイスまたはUSB経由で入力されたパソコンの出力信号、右いっぱい（INPUT）にすると本機の入力信号を出力します。

② **LINE OUT つまみ**
LINE OUT L／LINE OUT R端子の出力レベルを調整します。

③ **オーバーロードインジケーター（L）**
入力チャンネル（L）に歪むレベルの信号が入力される直前に赤く点灯します。このインジケーターはアナログ入力にのみ有効です。最大レベル−2dB以上で赤く点灯します。

④ **ファントム電源インジケーター（48V）**
ボトムパネルのPHANTOMスイッチをONにすると、48Vの文字が赤く点灯します。

メモ

INPUT L／INPUT RスイッチをLINEまたはGUITARにした場合、このインジケーターが点灯(PHANTOMスイッチをON)していても、スイッチをLINEまたはGUITARにした端子からファントム電源は供給されません。

⑤ **INPUT Lつまみ**
INPUT L端子および🎸端子からの入力レベルを調節します。

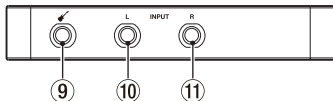
⑥ **PHONES つまみ**
🎧 端子の出力レベルを調整します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

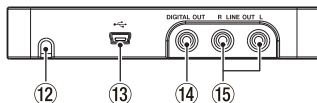
⑦ **オーバーロードインジケーター（R）**
入力チャンネル（R）に歪むレベルの信号が入力される直前に赤く点灯します。このインジケーターはアナログ入力にのみ有効です。最大レベル−2dB以上で赤く点灯します。

⑧ **INPUT Rつまみ**
INPUT R端子からの入力レベルを調節します。

フロントパネル

⑨ **端子**
ギターやベースなどのハイインピーダンスのものを接続します。ボトムパネルのINPUT Lの切換えスイッチがGUITARのときに機能します。（6.3mm（1/4”）TS標準ジャック、Tip：HOT、Sleeve：GND）

⑩ **INPUT L端子**
バランスライン入力端子です。電子楽器やオーディオ機器、マイクなどを接続します。
接続機器に応じてボトムパネルのINPUT Lの切換えスイッチをMICまたはLINEに切り換えます。
（6.3mm（1/4”）TRS標準ジャック、Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑪ **INPUT R端子**
バランスライン入力端子です。電子楽器やオーディオ機器、マイクなどを接続します。
接続機器に応じてボトムパネルのINPUT Rの切換えスイッチをMICまたはLINEに切り換えます。
（6.3mm（1/4”）TRS標準ジャック、Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

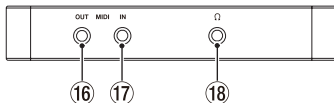
リアパネル

⑫ **Dockコネクターケーブル用穴**
Dockコネクターケーブルを通します。

⑬ **Mini USB端子**
USBケーブルを使ってパソコンと接続します（USB 2.0に対応）。
USBケーブルを使ってUSB充電器と接続した場合、Dockコネクターケーブルに接続されたiOSデバイスへの充電ができます。
充電のために接続する場合は、必ずDockコネクターケーブルにiOSデバイスを接続後にUSBケーブルを接続してください。

この端子にUSB充電器またはパソコンを接続する事でファントム電源が使用できます。
この端子に接続したUSB充電器がコンセントから抜けるとノイズが混入しますのでご注意ください。

⑭ **DIGITAL OUT［COAXIAL］端子**
IEC60958-3（S/PDIF）に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。（RCAピンジャック）

⑮ **LINE OUT L/R［UNBALANCE］端子**
アナログライン出力端子 (L/R) です。（RCAピンジャック）

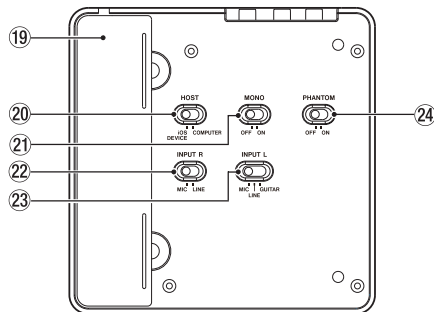
左サイドパネル

⑯ **MIDI OUT端子**
MIDI信号を出力します。

⑰ **MIDI IN 端子**
MIDI信号を入力します。

⑱ **Ω 端子 (3.5mmステレオミニジャック)**
ステレオヘッドホンを接続するための端子です。標準プラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

注 意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ボトムパネル

⑲ **Dockコネクターケーブル収納部**
iOSデバイスに接続するためのDockコネクターケーブルが入っています。

⑳ **HOSTスイッチ**
使用するUSBバス信号の切換え（Dockコネクターケーブルかusb端子）を行います。Dockコネクターケーブルに接続したiOSデバイスにする場合は**iOS DEVICE**に、Mini USB端子に接続したパソコンなどにする場合は**COMPUTER**にします。

㉑ **MONOスイッチ**
LINE OUT L／**LINE OUT R**端子および 🎧 端子からの出力をモノラルにしたい場合は、このスイッチを**ON**にします。このスイッチは、**INPUT L**／**INPUT R**入力にのみ有効です。

㉒ **INPUT Rスイッチ**
INPUT R端子の入力ソースに応じて設定します。電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は**LINE**に、マイクを接続する場合は**MIC**にします。

㉓ **INPUT Lスイッチ**
INPUT Lおよび 🎸 端子の入力ソースに応じて設定します。エレキギター、エレキベースなどを直接接続する場合は**GUITAR**にします。電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は**LINE**に、マイクを接続する場合は**MIC**にします。

㉔ **PHANTOMスイッチ**
INPUT L／**INPUT R**端子に＋48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。
PHANTOMスイッチが**ON**のときにトップパネルのファントム電源インジケーター（**48V**）が点灯します。

メモ

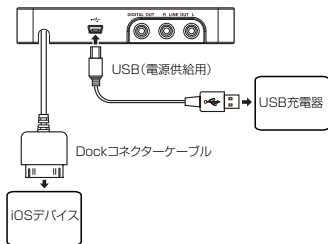
INPUT L／**INPUT R**スイッチをLINEまたはGUITARにした場合、**PHANTOM**スイッチがON(**ファントム電源インジケーターが点灯**)になっていても、**INPUT L**／**INPUT R**スイッチをLINEまたはGUITARにした端子からファントム電源は供給されません。

注意

- **PHANTOM**スイッチの**ON**または**OFF**は、**PHONES**つまみと**LINE OUT**つまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- **PHANTOM**スイッチを**ON**にした状態でマイクを抜き差ししないでください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクロホンの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- バッテリー駆動のノートパソコンの場合、**PHANTOM**スイッチが**ON**のときにはパソコンのバッテリーの消耗が早くなります。
- ファントム電源はUSBバスからの供給となるため、iOSデバイス接続時にファントム電源を必要とする機器を接続する場合は、必ずMini USB端子に電源供給用のUSB充電器を接続してください。

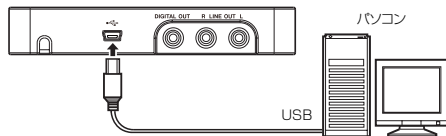
第３章　接続

iOS デバイスとの接続

接続前にボトムパネルのHOSTスイッチをiOS DEVICEに設定します。
次にDockコネクターケーブルを収納部から取り出してiOSデバイスに接続し､さらに電源供給する場合は、以下のように接続します。
下記のように､USBケーブルを使ってUSB充電器と接続した場合､Dockコネクターケーブルに接続されたiOSデバイスへの充電ができます。

注 意

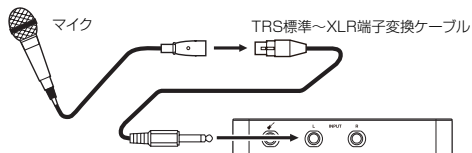
- 充電のためにUSBケーブルを接続する場合は、必ずDockコネクターケーブルにiOSデバイスを接続後にUSBケーブルを接続してください。
- 本機のUSBコネクターに接続するUSB充電器は、接続機器ごとの製品に付属されたアップル純正専用充電器をお使いください。
- 接続機器に「機内モード」の設定がある場合は､オンにしてご使用ください。

パソコンとの接続

接続前にボトムパネルのHOSTスイッチをCOMPUTERに設定します。
付属のUSBケーブルを使って、図のように本機とパソコンを接続してください。

注 意

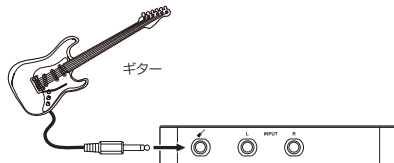
USB機器の中には､USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト､クリックノイズなどを避けるために、本機が接続されているパソコンには､マウス､キーボード以外のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。

マイクの接続

マイクは、フロントパネルのライン／マイク入力（L）端子（INPUT L 端子）とライン／マイク入力（R）端子（INPUT R 端子）に接続します。
マイク入力を有効にするには、ボトムパネルの INPUT L スイッチまたは INPUT R スイッチを MIC にします。
また、ファントム電源が必要なマイクを接続する場合は、PHANTOMスイッチをONにしてください。
本体にある端子はTRS標準ジャックタイプの入力端子のみですが、製品に付属するTRS標準〜XLR端子変換ケーブルを使うことでXLR端子タイプのマイクにも対応します。

注 意

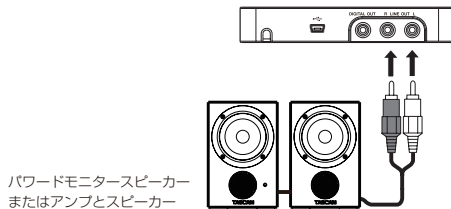
- PHANTOMスイッチがONの場合、INPUT L／INPUT Rスイッチを MICにした端子にはファントム電源が供給されるため、ファントム電源を必要としない機器を接続する端子のスイッチは、必ずMIC以外にしてください。ファントム電源非対応機器が故障する恐れがあります。
- PHANTOMスイッチをONにした状態で、マイクを抜き差ししないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源はUSBバスからの供給となるため、iOSデバイス接続時にファントム電源を必要とする機器を接続する場合は、必ずMini USB端子に電源供給用のUSB充電器を接続してください。

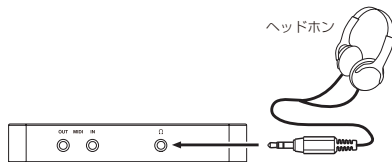
ギターの接続

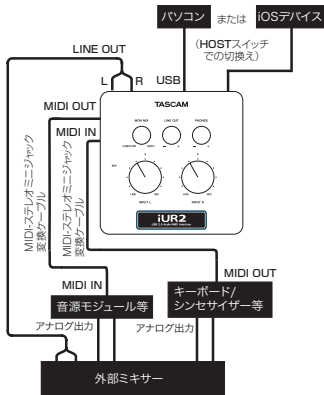
ギターやベースは、フロントパネルのギター入力端子（🎸 端子）に接続し、ボトムパネルのINPUT Lスイッチを GUITARにします。

キーボード／ドラムマシン／音楽プレーヤーの接続

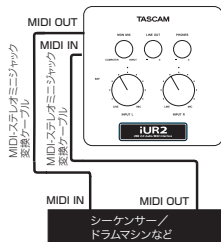
これらのアナログ機器は、フロントパネルのライン／マイク入力（L）端子（INPUT L端子）とライン／マイク入力（R）端子（INPUT R端子）に接続します。
ライン入力を有効にするには、ボトムパネルのINPUT LスイッチまたはINPUT RスイッチをLINEにします。

モニタースピーカーの接続

モニタースピーカー（パワードスピーカーまたはアンプとスピーカー）は、リアパネルのライン出力（L）端子（LINE OUT L端子）とライン出力（R）端子（LINE OUT R端子）に接続します。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンは、左サイドパネルのヘッドホン出力端子（🎧端子、3.5mmステレオミニジャック）に接続します。

MIDI の接続

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を付属のMIDI-ステレオミニジャック変換ケーブルを使用して、以下のように接続します。

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンの音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機の**INPUT L**／**INPUT R**端子に入力するか、外部ミキサーに入力し、同時に本機の**LINE OUT L**／**LINE OUT R**端子も外部ミキサーに入力して、外部ミキサーを使ってモニターしてください。

左サイドパネルの**MIDI IN**／**MIDI OUT**端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、アプリケーション上のMTC対応MTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。

注 意

Windows Media Player使用時、コントロールパネル内の《サウンドとオーディオデバイス》からMIDI音楽の再生出力先（既定のデバイス）を《Microsoft GS Wavetable SW Synth》に設定した場合は、本機の**LINE OUT**出力、および 🎧 端子出力からはMIDI演奏を聞くことができません。

第４章　アプリケーションガイド

本機は、パソコンのOS標準のオーディオドライバーを使用しますので、Windows Media Player、iTunesなど、どのオーディオアプリケーションソフトにおいても設定方法は同じです。

注 意

ヘッドホンやスピーカーを本機に接続する前に、出力レベル調節つまみ（**LINE OUT**および**PHONES**つまみ）で音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

メ モ

- 各アプリケーションソフトを起動した状態で設定を行った場合は、アプリケーションソフト側でデバイスの切り換えが認識されません。そのような場合は、アプリケーションソフトを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホンから音は出なくなります。

Windows 7/Windows Vista

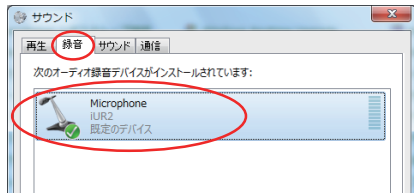
1. すべてのアプリケーションを終了し、《**スタート**》より《**コントロールパネル**》を開きます。

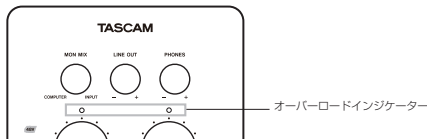
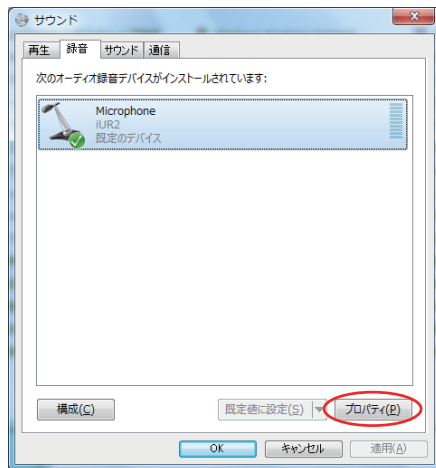
2. 《**サウンド**》を開きます。

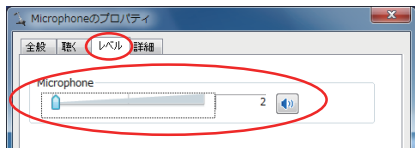
メ モ

上記項目が見あたらない場合は、《**ハードウェアとサウンド**》をクリックすると表示されます。

3. 《**再生**》タブをクリックし、《**スピーカー iUR2**》をクリックし、《**既定値に設定**》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《**スピーカー iUR2**》に移動します。

4. 《**録音**》タブをクリックし、《**Microphone iUR2**》をクリックし、《**既定値に設定**》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《**Microphone iUR2**》に移動します。

5. 入力レベルの調節は、本機のトップパネルにある入力レベル調節つまみ（**INPUT L/INPUT R**つまみ）、およびパソコン*の《**Microphoneのプロパティ**》の《**レベル**》タブで行います。オーバーロードインジケーター（**L**または**R**）が点灯しないよう調節してください。

＊ Windows7(32/64ビット)およびWindows Vista(32ビット)のパソコン

《**サウンド**》コントロールパネルの《**録音**》タブを開き、画面右下の《**プロパティ**》をクリックします。

《**Microphoneのプロパティ**》画面が表示されます。

《**レベル**》タブをクリックします。

Windows 7･32ビット版の場合

《**Microphoneのプロパティ**》画面の《**レベル**》タブの《**Microphone**》を、

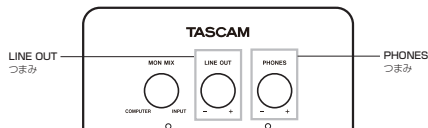
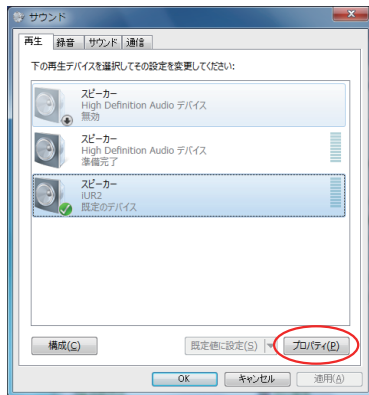
Windows 7･32ビット版の場合：録音レベル2/100で基準レベル
Windows 7･64ビット版の場合：録音レベル3/100で基準レベル
Windows Vista･32ビット版の場合：
録音レベル25/100で基準レベル

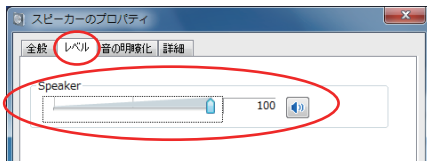
に設定してください。これ以上に上げた場合は、音が歪む可能性があります。

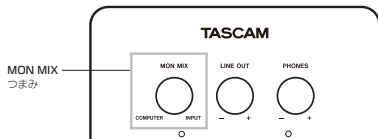
メモ

Windows Vista･64ビット版の場合:パソコン側での設定はできません。本機のみで設定してください。

6. 出力レベルの調節は、本機のトップパネルにある、出力レベル調節つまみ（**LINE OUT**および**PHONES**つまみ）で行います。

アナログライン出力端子（**LINE OUT L/LINE OUT R** 端子）およびヘッドホン出力端子（🎧 端子）からの出力レベルを調節します。

《**サウンド**》コントロールパネルの《**再生**》タブを開き、画面右下の《**プロパティ**》をクリックします。

《**スピーカーのプロパティ**》画面が表示されます。

《**レベル**》タブをクリックします。

《**Speaker**》でレベルを最大にします。画面下の《**OK**》をクリックして各画面を閉じます。

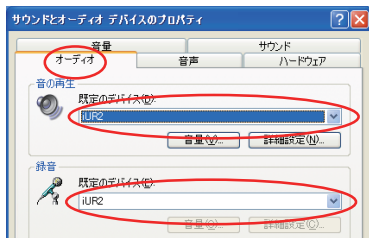
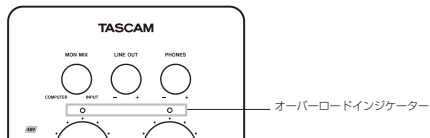
7. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみ（**MON MIX**つまみ）で行います。

Windows XP

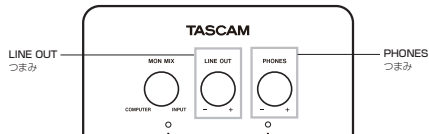
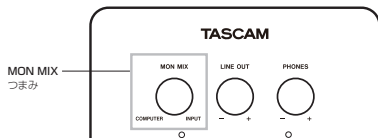
1. すべてのアプリケーションを終了し、《**スタート**》より《**コントロールパネル**》を開きます。
2. 《**サウンドとオーディオデバイス**》を開きます。

メモ

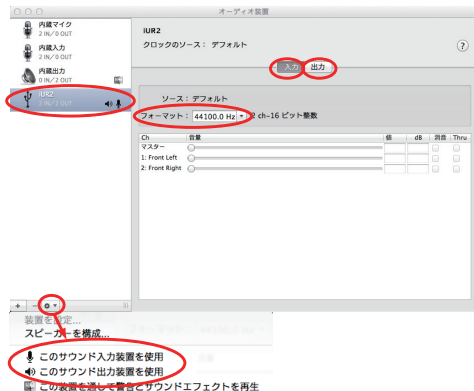
上記項目が見あたらない場合は、《**サウンド、音声、およびオーディオデバイス**》をクリックすると表示されます。

サウンドとオーディオ デバイス

3. 《**オーディオ**》タブをクリックし、以下の設定を行います。
   a) 《**音の再生**》の《**既定のデバイス**》で、《**iUR2**》を選択します。
   b) 《**録音**》の《**既定のデバイス**》で、《**iUR2**》を選択します。

4. 入力レベルの調節は、本機のトップパネルにある入力レベル調節つまみ（**INPUT L/INPUT R**つまみ）を使って行います。オーバーロードインジケーター（**L**または**R**）が点灯しないよう調節してください。

5. 出力レベルの調節は、本機のトップパネルにある出力レベル調節つまみ（**LINE OUT**および**PHONES**つまみ）で行います。

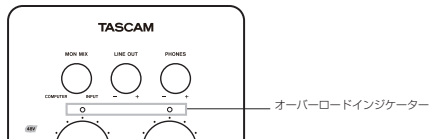
アナログライン出力端子（**LINE OUT L**／**LINE OUT R**端子）およびヘッドホン出力端子（🎧端子）からの出力レベルを調節します。

6. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみ（**MON MIX**つまみ）で行います。

Mac OS X

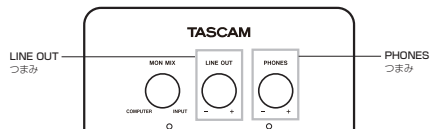
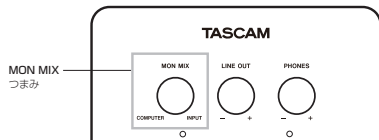
1. 《**アプリケーション**》フォルダの中の《**ユーティリティー**》フォルダの中にある《**Audio MIDI設定**》をダブルクリックして起動します。
2. 《**オーディオ装置**》タブをクリックします。

- Mac OS X 10.7.2 / 10.6.8の場合

上記の左側の《**iUR2**》をクリックして選択後、下の《 》をクリックしてウィンドウを開き、《**このサウンド入力装置を使用**》をクリックしてオーディオ入力を設定します。再度《 》をクリックしてウィンドウを開き、《 **このサウンド出力装置を使用**》をクリックしてオーディオ出力を設定します。設定された場合は、上記のようにそれぞれ設定時に と が《**iUR2**》の所に移動します。
また、《**入力**》の《**フォーマット**》を、ご使用になるオーディオアプリケーションにおけるサンプリング周波数と同じになるように設定してください。

- Mac OS X 10.5.8の場合

《**デフォルトの入力**》、《**プロパティ**》、《**デフォルトの出力**》、《**システム出力**》を《**iUR2**》に設定してください。また《**オーディオ入力**》の《**フォーマット**》を、ご使用になるオーディオアプリケーションにおけるサンプリング周波数設定およびチャンネル数と同じになるように設定してください。

3. 入力レベルの調節は、本機のトップパネルにある入力レベル調節つまみ（**INPUT L**または**INPUT R**つまみ）を使って行います。オーバーロードインジケーター（**L**または**R**）が点灯しないよう調節してください。

4. 出力レベルの調節は、本機のトップパネルにある、モニターバランス調節つまみ（**MON MIX**つまみ）、出力レベル調節つまみ（**LINE OUT**および**PHONES**つまみ）で行います。

   アナログライン出力端子（**LINE OUT L**または**LINE OUT R** 端子）およびヘッドホン出力端子（🎧 端子）からの出力レベルを調節します。

5. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみ（**MON MIX**つまみ）で行います。

オーディオアプリケーションの設定について

お使いのオーディオアプリケーションの設定については、各オーディオアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。

第５章　MIDI インプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用	....		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #	....		
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	

第５章　MIDI インプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
その他	ローカル·オン/オフ	×	×	スルー
	オール·ノート·オフ	×	×	
	リセット	×	×	
	アクティブ·センス	×	×	
備考				

モード1：オムニ·オン、ポリ　　モード2：オムニ·オン、モノ　　○：YES
モード3：オムニ·オフ、ポリ　　モード4：オムニ·オフ、モノ　　×：NO

第6章　トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。
本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。その際、下記のご使用環境と詳しい状況をお知らせいただきますようお願いいたします。
お問い合わせ先につきましては、裏表紙をご覧ください。

ご使用環境

- PCメーカー:
- モデル:
- CPU:
- 搭載メモリ:
- OS:
- 使用アプリケーション:
- ウイルス対策ソフトの有無:
- 無線LANの有無:

● 音切れやノイズが発生する。

↓

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生することがあります。

- パソコンの負荷を軽減させる方法を、以下にご紹介いたします。

1) 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。

   無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。

2) お使いのオーディオアプリケーションにてバッファーサイズを大きく設定することをお試しください。

3) 以下のようにパソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

Windows XP

1. 《**マイコンピュータ**》を右クリックし、《**プロパティ**》を選択します。
2. 《**詳細設定**》タブをクリックします。
3. 《**パフォーマンス**》枠の《**設定**》をクリックします。
4. 《**パフォーマンスオプション**》画面で、《**パフォーマンスを優先する**》を選択します。

Windows 7/Windows Vista

a) 《Aero》(エアロ) を《OFF》に設定

1. デスクトップを右クリックし、《**個人設定**》を選択します。
2. 《**ウィンドウの色とデザイン**》をクリックし、ウィンドウ下の《**詳細な色のオプションを設定するには、クラシックスタイルの [デザイン] プロパティを開きます**》をクリックします。
3. 《**配色**》に《**Windows Vista ベーシック**》など《**Windows Aero**》以外の項目を選択します。

b) パフォーマンス設定

1. 《**コンピュータ**》を右クリックし、《**プロパティ**》を選択します。
2. 《**システムの詳細設定**》をクリックします。
3. 《**詳細設定**》タブをクリックします。
4. 《**パフォーマンス**》枠の《**設定**》をクリックします。
5. 《**パフォーマンスオプション**》画面の《**視覚効果**》タブで、《**パフォーマンスを優先する**》を選択します。

Mac OS X

1. 《**アップルメニュー**》より《**システム環境設定..**》画面を開き、《**省エネルギー**》を選択します。
2. 《**スリープ**》タブをクリックします。
3. 《**パソコンがスリープするまでの静止している時間**》を《**しない**》に設定します。
4. 《**ディスプレーがスリープするまでのパソコンが静止している時間**》を《**しない**》に設定します。
5. 《**オプション**》タブをクリックします。《**プロセッサのパフォーマンス**》を《**最高**》に設定します。

メモ

Mac OS X のバージョン、またはMacintoshコンピュータによっては、この設定が無い場合があります。

● **ライン/マイク入力(L)端子(INPUT L端子)の音が入力できない。**

↓

- ボトムパネルの**INPUT L** スイッチが**LINE**あるいは**MIC**に設定されていますか?
- iOSデバイスに4pinのマイク付きヘッドホンが接続されていませんか?
  iOSデバイスは4pinのマイク付きヘッドホンを接続すると、入力をマイク付きヘッドホンに切り換えてしまいます。3pinのヘッドホンをご使用ください。

● **LINE OUT端子に接続したスピーカーから音が出ない**

↓

アンプ、またはスピーカーの電源は入っていますか?
ボリュームは上がっていますか?

アナログ入出力定格

マイク１入力 (INPUT L)

INPUT LスイッチでMICに切り換え

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
インピーダンス：2.2kΩ
規定入力レベル：−63dBu〜−21dBu
最大入力レベル：−1dBu

マイク2入力（INPUT R）

INPUT RスイッチでMICに切り換え

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：2.2kΩ
規定入力レベル：−63dBu〜−21dBu
最大入力レベル：−1dBu

ラインL入力（INPUT L）

INPUT LスイッチでLINEに切り換え

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：10kΩ
規定入力レベル：−38dBu〜+4dBu
最大入力レベル：+24dBu

ラインR入力（INPUT R）

INPUT RスイッチでLINEに切り換え

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：10kΩ
規定入力レベル：−38dBu〜+4dBu
最大入力レベル：+24dBu

ギター入力 (🎸)

INPUT LスイッチでGUITARに切り換え

アンバランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TS標準ジャック
（Tip：HOT、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：1MΩ
規定入力レベル：−58dBV〜−16dBV
最大入力レベル：+4dBV

ライン出力 (LINE OUT L/R)

アンバランス

コネクター：RCAピンジャック

出力インピーダンス：100Ω
最大出力レベル：+6dBV

ヘッドホン出力（🎧）

コネクター：3.5mm（1/8"）ステレオミニジャック
最大出力：10mW +10mW

デジタル出力定格

COAXIAL（DIGITAL OUT）

コネクター：RCAピンジャック
フォーマット：IEC 60958-3 (S/PDIF)
出力インピーダンス：75Ω
レベル：0.5Vp-p/75Ω

コントロール入出力定格

MIDI 入力（MIDI IN）

コネクター：3.5mm（1/8"）ステレオミニジャック
フォーマット：標準 MIDIフォーマット

MIDI 出力（MIDI OUT）

コネクター：3.5mm（1/8"）ステレオミニジャック
フォーマット：標準 MIDIフォーマット

USB（⭠USB⭢）

HOSTスイッチでCOMPUTERに切り換え

コネクター：Mini-Bタイプ 5ピン
フォーマット：USB 2.0 FULL SPEED (12Mbps)

iOS Dock（Dockケーブル）

HOSTスイッチでiOS DEVICEに切り換え

コネクター：iOS Dockタイプ30ピン
フォーマット：USB 2.0 FULL SPEED（12Mbps）

オーディオ特性

周波数特性

20Hz ～ 20kHz +1/－3dB
（マイク/ライン入力 → ライン出力、JEITA）

S/N比

90dB以上
（マイク/ライン入力 → ライン出力、JEITA）

歪率

0.02% 以下
（マイク/ライン入力 → ライン出力、JEITA）

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）をご確認ください。

対応OS

Windows：　Windows XP 32ビット／64ビット
Windows Vista 32ビット／64ビット
Windows 7 32ビット／64ビット

Mac OS X：Mac OS X 10.5.8以上
Mac OS X 10.6.3以上
Mac OS X 10.7

iOSデバイス：iOS 4.3.5、iOS 5.1.1

ドライバー

Windows：WDM（Windows標準ドライバー）

Mac OS X：CoreAudio、Core MIDI（Macintosh 標準ドライバー）

一般

サンプリング周波数：44.1/48kHz

量子化ビット数：16ビット

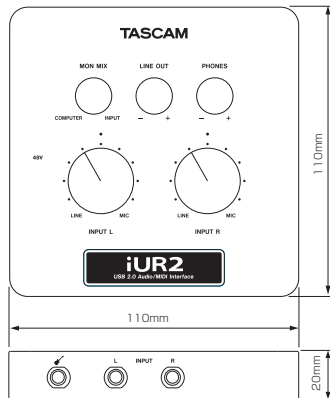
電源：iOSデバイスまたはパソコンよりDockまたはUSB経由で供給

消費電力：2.5W

外形寸法：110 x 20 x 110mm（幅 x 高さ x 奥行き）

質量：220g

動作温度：5〜35℃

寸法図

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土･日･祝日･弊社休業日を除く10:00〜12:00／13:00〜17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話･PHS･IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障･修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土･日･祝日･弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS･IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033／FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ユーザー登録に関して

TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China